

## 報道とテキスト処理

— 宮沢首相「労働倫理」発言について —

林 暢夫

(平成4年11月2日受理)

### 要 旨

本稿はいわゆる宮沢首相の「労働倫理」発言についてその経緯を要約し、発言内容と報道内容の主として言語的側面に若干の考察を加えるとともに、マスコミにおける異言語間コミュニケーションの問題点の一、二を指摘しようとするものである。

### キーワード

宮沢発言、報道記事、翻訳、エディティング、テキスト処理、ソース・テキスト、ニュース・テキスト

### 1 経 緯

周知のとおり後にいわゆる宮沢首相「労働倫理」発言と称され、内外に物議をかもした発言は、1992年2月3日、衆議院予算委員会における自由民主党議員武藤嘉文氏の質問に対する答弁の中で行なわれたものである。

同2月3日夕刻、在京のAP、AFP、ロイターなどの外国通信社は一斉に「働く倫理観が欠けている」という部分を取り出してこの発言を報道した。ロイターは「言葉の戦争の激化」を物語るというコメントも加えた<sup>1)</sup>。

アメリカでは三大ネットワークが2月3日(現地時間)夜の全国ニュースでトップに扱い、そろってこの発言を批判した。CNNも繰り返し発言を取り上げる<sup>2)</sup>。

ニューヨーク・タイムズは2月4日(現地時間)付け一面に準トップ扱いでこれを報じた<sup>3)</sup>。

さて、2月3日(日本時間)夜、すなわち、

予算委員会開催当日の晩、外務省は直ちに英(はなぶさ)外務報道官の談話を発表し、首相発言の真意とする内容を述べたうえで、「誤解を生んだとすれば遺憾だ」と釈明した<sup>4)</sup>。

国内の新聞では、例えば、朝日新聞は2月4日付け2面(14版)で報道する。ただし、同日付け5面(13版)に掲載された予算委員会の「焦点採録」では武藤氏と首相との質疑応答は政治改革に関するもののみをとり上げた。

翌2月4日午前、加藤紘一官房長官は閣議後の記者会見で「一部をとって伝えられたのは残念だ。真意はマネーゲームのようなものが、本当にモノを生産し、価値を作るのかという、日本にもあるバブル批判に言及したものだ」と述べ、米国労働者を批判した内容ではないと強調するとともに、外交ルートを通じて発言の真意を米政府に伝えたことを明らかにした<sup>5)</sup>。

同2月4日の予算委員会では公明党の市川雄一書記長が、3日の首相発言の真意を質したのに対して、宮沢首相は「倫理観という言葉を使ったのが、誤解を招いたのかもしれないが、米国の労働者を批判する趣旨ではない」と説明し、「報道は真意を伝えていない」と述べた。また、これに先立って、新聞記者の質問に「速記録を全部読んでくれれば分かることだから。別に問題ないんじゃないですか」と答えている<sup>7)</sup>。

米政府はどのような反応を示したか。2月3日(現地時間)、ホワイトハウスのフィッツウォーター報道官は、米国の労働者は「働き手で競争力に富み、世界に並ぶ者がいない」と述べ、「日米両国の政府関係者が互いの国についてこうしたコメントをすることは好ましくない」と、不快感を表明した<sup>8)</sup>。ブッシュ大統領も、フィッツウォーター報道官のコメントを支持すると言い、アメリカ人労働者を弁護したが、外交ルートを通じた日本政府の素早い対応が功を奏したためか、同時に、「宮沢首相の(発言の)訂正も見た」と述べ、英(はなぶさ)外務報道官による釈明コメントを受け入れたことを明らかにした<sup>9)</sup>。また、国務省のタトワイラー報道官も記者会見で、この問題に決着がついた(“closed”)と述べる<sup>10)</sup>。

日米の政府間では一応の決着がついたが、当時、大統領選に立候補を表明していた共和党のパトリック・ブキャナンは早速、遊説中のニュー・ハンプシャー州で宮沢発言を批判し、日本に対しては厳しい態度をとらねばならないと支持者を前に熱弁をふるった<sup>11)</sup>。

これ以降、「別に問題ないんじゃないですか」という首相の予想に反して、各界各層から様々な批判が噴出し、波紋は当分続くことになる。例えば、日本車を人前で叩き壊してみせるなどという露骨な反日感情の爆発が一部でみられたり、日本製品の不買運動が起こったり、日系企業の駐在幹部らが首相発言の

釈明に大弱りをするなどという事態が生じたのである<sup>12)</sup>。

## 2 発言内容とその報道

ところで、問題となった宮沢首相の発言であるが、議事録に直接あたる余裕がなかったので報道された範囲のものを、多少長いが、武藤氏の発言も含めて、以下に引用する。

**武藤議員** 人間は働くところに人間の良さがある。働き過ぎはいけないが、与えられた間だけはきちんと働くのは正しい勤労の姿だ。米国の方に分かっていただくように日本は努力をしていくべきだ。

**宮沢首相** 誠に良く分かるお話を聞かせて頂いたと思うが、確かに、今、アメリカに欠けているものというか、この十何年、ここに至った所以を見ていくと、物を作るというか、価値を産むということについての解釈が非常にルースになったと申すか、これは、マネーマーケットでも価値を産むに違いないだろうとか。

額に汗して一つのを創造していくという、そういう勤労の倫理というものが、色々なことに関係あったが、コンピュータにもやはり関係があって、大学を出た人が大変な高給でウォールストリートにたくさん入ってしまい、その結果として、物を作るエンジニアがどんどん減ってしまったことを、武藤議員も私も見ている。

そういうことで良いのかと考えているうちに、マネーマーケットが進み、ジャンクボンドになったが、ジャンクボンドは、本当にある意味で言葉が示すように危険なものであり、LBO、レバレッジド・バイアウトというものも、全く自分で手金を持たずに人のものを買収し、そのまま利子が払えなくなって倒産してしまうという、誰が考えても長続きはしないことをここ十年余りやってきた。私は、

その辺のところに、働く倫理観というものが欠けているのではないかとずっと思ってきた。

今、御心配のことは私はまさにそのことと思うし、ある意味で、わが国のバブルと言われるものについてもそういう要素があったと思う。それから、バブルがあり、お互い、今、いろいろ後始末が大変であるが、これはやはり国民全体に対する教育であったとすら思う。

やはり、額に汗して、価値を作り上げていくことが大事なことである。説教がましくなったが、お話がそういうことであり、私が感じているのもそういうことである。ブッシュ大統領が教育ということを行い出したのも、<sup>13)</sup> こういうことをもう一度言おうとしているのではないかと思う。(ゴシックは林)

手もとには極めて限られた資料しか無く、いくつかの主要米紙を参照することなどむろん不可能だが、目についた範囲の報道を、主として、首相発言の「私は、その辺のところに、働く倫理観というものが欠けているのではないかとずっと思ってきた」という部分を中心として、以下に示すことにする。

先ず、AP :

*I have long thought that they (Americans) lack a work ethic.* (イタリックスは林、以下同様)<sup>14)</sup>

第一報ではないが、ロイター :

Miyazawa, asked in the Diet on Monday what he thought lay behind Japan-U.S. trade tensions, said, "*I have long felt that (Americans) may have lacked the work ethic.*"<sup>15)</sup>

第一報ではないが、AFP - Jiji :

Speaking to a Diet committee earlier in the day, Miyazawa had said that "*I suspect that Americans have come to lack a work ethic.*"<sup>16)</sup> (sic)

署名入りの記事を載せたニューヨーク・タイムズの一部 :

TOKYO, Feb. 3 - Just back from a quick visit to the United States, Prime Minister Kiichi Miyazawa added his voice today to those of other Japanese political leaders who have found fault recently with the way Americans perform in the workplace.

He said that America "*may lack a work ethic,*" and that some of the country's economic ills came about because too many American college graduates headed to Wall Street in the 1980's rather than "producing things of value."

Mr. Miyazawa's comments, made today during a nationally televised debate in Parliament, seemed bound to further inflame the atmosphere between the United States and Japan. Two weeks ago the Speaker of the lower house of Parliament, Yoshio Sakurachi, touched off protest in the United States when he termed American workers "lazy" and said a third of the workforce was illiterate.<sup>17)</sup>

もう一つ、今度は国内英字紙、マイニチ・デイリー・ニュース (以下、マイニチとする) の記事全文を引用する :

Prime Minister Kiichi Miyazawa said Monday *speculative greed has eroded the American work ethic* and made U.S. products less competitive.

"*I suspect that American workers have come to lack a work ethic,*" Miyazawa said, charging that speculative money games on Wall Street over the past decade have tempted many away from making high-quality products.

"Because so many American university graduates were recruited into Wall Street, the number of engineers in charge of de-

veloping goods has declined,” Miyazawa said in response to a question by former Trade Minister Kabun Muto in the House of Representatives Budget Committee.

The U.S. work ethic has eroded, the prime minister said, after years of “Junk-bond” deals and leveraged buy-outs, with Americans “acquiring others’ property without cash in their hands.”

Muto, before the same committee, blasted America’s Big Three automakers, saying they should accept criticism for the U.S. trade deficit with Japan.

He quoted “American consumers” as cautioning against buying a General Motors, Ford or Chrysler car built after the weekend.

“American auto workers cannot do their jobs on Mondays because they play too much on Saturdays and Sundays,” Muto said. “On Fridays, they cannot put their heart and soul into their work as they are preoccupied with their plans to play the next day.”

The comments by Miyazawa and Muto – marking the latest in a series of less-than-flattering statements by Japanese politicians about U.S. workers – come on the heels of reported remarks by House of Representatives Speaker Yoshio Sakurachi that American workers are lazy and *largely* illiterate.

Miyazawa said the United States has reached a “serious situation” partly because of a “loose interpretation of the policy of creating valuable things through production activities.

Instead, many U.S. investors incurred heavy debts buying out companies and then “went bankrupt because they could not make interest payments,” Miyazawa said.

The prime minister said the same forces were at work in Japan’s so-called “bubble economy” of skyrocketing land and securities

prices, but he said the collapse of the speculative bubble in Japan “taught the whole nation a lesson.”

Muto, in his comments on the U.S. auto industry, said he held the management of the Big Three more responsible for the industry’s woes than auto workers, adding that U.S. executives should not hold Japan solely responsible for the bilateral trade imbalance.<sup>18)</sup>

このほかに、共同通信とUPIの記事があればよいのだが、残念ながら参照できない。しかし、共同通信の記事は、後述するが、上記マイニチのものとはほぼ同じと推察される。

さて、問題となるのは、宮沢発言の「……働く倫理観というものが欠けている……」に対応する英訳文の適否である。上記の例では (lack / may lack) a work ethic、または、(may have lacked / have come to lack) a / the work ethic という (文の) 述部に対する主語として、Americans, America, American workers が与えられているが、これは果たして適切だろうか。また、原文の問題の部分と、その直前部に述べられていることとの照応関係は正しく把握されているだろうか。

### 3 考察と問題点

発言のほとぼりがさめかけた頃、朝日新聞のコラム「窓」に“誤報の構造”と題する一文が出た。これは、ほぼ同じ頃に発行された週刊誌 AERA に掲載の「反日煽る米の歪曲報道」という記事を紹介したものだが、その「窓」から一部を次に引用する。

宮沢首相の発言は、米国の企業買収や日本のバブルなどマネーゲーム化した経済を、「額に汗してもものをつくる勤労の倫理が大切」という観点から批判したもので、米国の労働

者を批判する言葉はなかった。

ところがAP通信は「私は彼ら（アメリカ人）が労働倫理を欠いていると、ずっと考えてきた」と発言を伝え、UPI通信は「宮沢首相はアメリカ人労働者をぶったたき、彼らは勤労の倫理に欠けると非難した」という書き出しで報道した。

アメリカ人労働者という言葉を入れた記事を先に配信したのは、共同通信だったらしい。同通信の記事には「アメリカ人労働者は労働の倫理を欠いてきた、と宮沢は述べ」と誤った引用部分がある。

外国の報道機関が、日本の国会のやりとりを現場で取材することはまずない。多分、外国通信社は共同通信をみて「また、日本の政治家の米国たたき」と勇み立ったのだろう。<sup>19)</sup>

これに対して、やがて、先ずAP通信の東京支局次長が朝日新聞の読者投稿欄「声」に、「慎重を期した」と反論を寄せた。

APはNHKの国会中継を録画しながら見ており、衆院予算委員会で「宮沢発言」があった後、録画テープを検証しながら、日本人記者を含む数人の編集スタッフが慎重な議論を重ね、公正を期して記事にしました。……APは第一報の記事の中で「宮沢首相の発言は米国人労働者に対する批評と言うよりも、米国経済の衰退を助長してきたと彼が信じる最近の傾向の評価であり、米国人評論家も似たような論評を下してきている」とも報じています。<sup>20)</sup>

共同通信も国際局長が朝日新聞の「論壇」で反論した。

共同英文ワールド・サービス(KWS)は、通信社の信頼性にもかかわる批判を受けたが、共同通信はその内容に確信をもっている。衆院予算委という時と場所、質問の内容、米国

の教育に触れた締めくくりなど前後のやりとりを総合的に検討し、報道に値すると判断した。<sup>21)</sup>

共同通信の報道についてAERAが「反日煽る米の歪曲報道」で述べていることをここで少し見てみよう。

(共同通信は) 発言の趣旨を比較的正しく伝え、「宮沢首相は、投機的な欲望がアメリカの労働倫理を浸食した、と述べた」という書き出しながら、「アメリカ人労働者は労働の倫理を欠いてきた、と宮沢は述べ」と誤った引用をしている。この共同電も(AP同様) 桜内発言に触れ、「アメリカ人労働者は怠け物で大半が文盲だ、と語り……」としている。……共同の佐々木担海外部長は、「共同電が間違いのもとでは、と言われて弱っている。だが、こちらは、宮沢発言の言葉尻をとらえて非難するのではなく、全体的な前後関係は正しく書いたつもり。一部ではなく全体を見て比較し、評価してほしい。大半が文盲、の部分は訂正する。日本人記者は正確に『三〇%が文盲』と述べた、と書いていたのに、米人のコピーリーダー(英文をチェックする係)<sup>22)</sup>がラージリー(大半)と書き変えた」と言う。

これを読んで前節に引用したマイニチの記事全体を再びながめると、マイニチの記事に共同電のいわば「エコー」が感じられることが分かる。マイニチは共同電を下敷きにして書いたか、あるいは報道のソースを明示してはいないが、ほとんど共同電の記事そのものだということが推察できるのである。先に引用した朝日「論壇」の共同通信側の「小論」には、また、「日本の政治家の言葉は、主語がどれで、述語がどこかもよくわからず、真意がとらえにくいのも報道上の難点である。そのままでは英文にならない。……KWSは……(従って) 英文構成上、『米国の労働者』

との主語を補った。だからといって、発言が労働者だけ取り出したのではなく、広く米国の現状を批判したものであることも、記事全体を読めば明らかであろう」という箇所がある。

実は、問題点の一つがこの辺りに存在するのである。一般に、言語の運用 (performance)、特に口頭言語の運用においては表現上の首尾一貫性が著しく不足する。予め準備された発言ではなく、いわば「即興」の場合、表現が整わず、あいまいで不透明な部分の多いのが口頭語の本質的な特徴なのである。Japan Views 誌は宮沢発言の日本語を“muddled”で“meandering”と評したが、政治家であろうと誰であろうと、通常、事前の準備の伴わない口頭言語は日本語でも英語でも整わぬものである。仮に、宮沢首相自身が速記録に手を入れて文章としての体裁を整えようとするなら、そこにある種のエディティング (editing) の作用が働くことになる。<sup>24)</sup>最低限論旨の理解に支障のないよう修正が加えられ、更に、文体上、修辞上の推こうもなされるかもしれない。発言内容を取材する報道記者の場合も同様である。発言内容はそのまま記事にならない。真意を損ねない範囲で補正することは当然である。また、報道の観点上、一定の取舍選択をすることも当然のことである。エディティングは、ここでも行なわれる。しかし、これまた当然ながら、そこに事実誤認があってはならない。

宮沢発言の問題の一文の場合、英訳文で補われた主語は、America、Americans、American workers であるが、America が最も抽象度が高く、American workers が最も具体的である。共同通信はその最も具体的で、従って指示範囲の狭い語を選んだ。読者はそこから工場労働者を連想することになる。これを事実誤認とみるかどうかだが、問題の文とその直前部との照応関係に注意を払っておれば「働く倫理観というものが欠けている」の

はウォール街でマネーゲームに狂奔する人たちだということが分かることになる。

実は、そのように考えるためのいわば「道標」があった。照応関係を示す「その辺のところ」 という文成分がそれである。「その辺のところ」がどの辺かがはっきりしなかったのがそもそも一連の騒ぎの元となった。なるほど、「発言が労働者だけ取り出したのではなく、広く米国の現状を批判したものであることも、記事全体を読めば明らかであろう」が、やはり問題の箇所の刺激が強過ぎる結果となったことは否めないだろう。

問題の一文の英訳について意見を述べる一読者の投稿がマイニチの読者欄にあらわれた。この読者は意見とともに自分自身の試訳を披露した。

It is my impression hence that *some* Americans as mentioned earilier (= those who played with money market in Wall Street just as its counterparts in Japan) appear to have lost the virtue (of respecting manufacturing <sup>25)</sup> jobs).

これは誤解を避けるための工夫を凝らした訳である。これならさほどアメリカ人読者の反感を買う心配はなかったであろう。

発言の直後、日本政府は「外交ルートを通じて発言の真意を米政府に伝えた」ことは前に述べた。それでは、その真意を伝えるものは何であったかということ、多分、その重要な一部は外務省による議事録英訳文であったろう。ニューヨーク・タイムズがこれを公表した。

I have heard your comment, which is easy to understand. [ Your point would be ] there is something that is lacking in America. Looking at what things have come to over the past 10 years: we might say that the interpretation of producing things or creating value has become

very loose; it's that no one doubts that value can be created in the money market. Creating things by the sweat of our brows, a kind of work ethic, is related to various things. There is probably even a connection with computers. People graduating from universities are going to Wall Street for high salaries. As a result, the number of engineers, who actually make things, is shrinking, something Representative [ Kabun ] Muto and I both see.

While we were debating whether this situation was all right or not, the money market advanced and junk bonds appeared — junk bonds, just as their name implies, are very dangerous. We have these leveraged buyouts where those without their own money can buy up things, and then, unable to pay the interest on their debts, [ the companies ] fall into bankruptcy. It should be obvious to anyone that such a situation could not continue long.

Yet, over the past 10 years, this very situation has continued. *I have long felt that this might involve something like a lack of a work ethic.* I think what you are worrying about is related to this situation. In one sense, there are many of these same elements present in what has been called Japan's bubble economy. After this bubble [ burst ], both [ countries ] now have a lot to clean up in the aftermath, and all of our people learned a lot from this. It is very important to build things of value with the sweat of our brows. This may sound like a sermon, but what I have said is what I feel. When President Bush talks about education, I believe he is trying to reiterate the above kind of message.<sup>26)</sup>

これは外務省の苦心の訳であろう。なるべく発言内容をありのままに伝えようとして逐

語訳を心がけたようだ。原文の乱れがあるからここでもやはりエディティングが行なわれる。しかし、これは苦心の訳ではあっても、あたりまえだが、名文ではない。また、名文である必要もない。駐米日本大使館のステートメントに多分付随のこの訳文をブッシュ大統領は読んだ筈だ。大統領の次の言葉にある“the correction”はこの訳文を指すのだろう。

I also saw the correction by Mr. Miyazawa, I'm pleased to say ... I accept it for what it was, a very clear statement from a good man. ... (He was) going out of his way to make clear that he was *not* denouncing *all* American workers<sup>27)</sup> ...

日本人のものの考え方を正確に伝え、外国人の誤解を防ぐため、日本国内の新聞・雑誌等の主要論文・記事を英訳で掲載する専門の雑誌 *Japan Views* は宮沢発言の独自の英訳文を掲載した。発言の日本語はとても逐語訳には耐えないので意訳 (interpretative rendition) と断っている。以下がその訳文である。

What is missing in the United States today? What happened over the last decade or so to bring Americans to the present state of affairs? It seems to me they now believe that value can be created by dealing in stocks and bonds, as opposed to the emphasis on making things. The traditional work ethic centered around the industrial process — invent something, develop it and turn it out on an assembly line — grease on your hands and sweat on your brow.

Many young Americans with advanced knowledge of computers have gotten high-paying jobs on Wall Street. Consequently, the number of engineers has steadily declined, which I thought was an unhealthy trend. Then in the 1980s the money market flourished, driven by junk bonds and leveraged buyouts. Aggressive managers and corporate raiders

acquired companies without investing their own capital and then found themselves saddled with enormous debt, and many went bankrupt. This bizarre way of doing business somehow thrived for more than a decade.

*Somewhere along the line the good old work ethic got lost.* The speculative frenzy in Japan in the late 1980s had a similar effect.

Although the aftermath is painful for both nations, I believe we have learned a lesson. I don't mean to preach, but the best way to create value is by the sweat of your brow. I presume that is what President George Bush has in mind when he talks about education.<sup>28)</sup>

外務省訳に比べて、むろん両者の狙いは異なるが、これはさすがに文章として見事なものである。無駄はなく、かつ肝腎の要点はきちんと含まれている。整い過ぎて速記録の訳文にはならないが、発言の真意を伝えるにはこれが一番である。

さて、報道記者が取材・報道をする場合、対象が現場で取材する物理的・人的な事象・事件の場合と、例えば、首相発言のような(言語)テキストあるいは「談話」(discourse)そのものの場合とがある。後者の場合、テキストは文字によって記録化されたもののみでなく口頭語によるものをも含む。取材対象となるテキストを「ソース・テキスト」(source text)、それに基づき報道記事にされたテキストを「ニュース・テキスト」(news text)としよう。あるいは、「原テキスト」、「報道テキスト」としてもよい。そうすると、報道記者がソース・テキストからニュース・テキストを作る過程は一種の「テキスト処理」(text processing)の過程とみなすことができる。<sup>29)</sup>大雑把に言って、すでに触れたエディティングという操作はこのテキスト処理の作業とみなして差し支えないであろう。

上記のようなテキスト処理において、宮沢発言との関連で考えられる問題点の一つはソース・テキストが口頭語によるものだけであることである。仮に、議事録が出た後での取材であればもっと慎重になったであろう。ここにはニュース報道における時間の制約が絡んでくる。もう一つの問題点は、ソース・テキストの言語が日本語で、ニュース・テキストの言語が英語であるというように、テキスト処理が異言語間にわたり翻訳を伴うものであることである。日本語と英語のように、構造の非常に異なる言語間の翻訳はテキスト処理の難点となる。また、翻訳に日本人記者が当たる場合、普通、英語を母語とするコピー・リーダーが英文を点検するが、その際、不注意によるか、意図的かはともかく、ソース・テキストが歪められる可能性がある。「三〇%」を“largely”としたのはその一例である。

実は武藤議員の質問にはアメリカ自動車産業の労働者に関するコメントが含まれている。残念ながら議事録を見ないと詳しいことは分からないが、先に引用したマイニチの記事の後半部を見れば概略の見当はつく。大体、「アメリカの自動車産業労働者は週末に遊び過ぎて月曜日は仕事に身が入らない。金曜日になると、今度は翌日の遊びの計画に気もそぞろになり、また、仕事に熱中できない。だから、アメリカの消費者はGM、フォード、クライスラーなどの米国製の車を、週のはじめに生産されたものは、なるべく買わないようにしていると言われている」という内容らしい。<sup>30)</sup>武藤氏の意図は日米貿易不均衡の、より大きな責任は米側自動車産業の経営者にあつて日本にだけその責任を押し付けるのはおかしいと米側に「分かっていたくよう日本は努力をしていくべきだ」と首相に訴えることであつたようだ。

このコメントでは自動車工業の「労働者」という言葉が幾度か出たことが想像できる。首相発言のしばらく前には桜内衆院議長によ



るアメリカ人労働者についての発言がある。こういったことが幾分か誘導的な作用として働くことはないだろうか。

誘導的な作用があったとしても、宮沢首相は結果としてその誘導には乗らなかった。「労働者」という言葉を使っていないのである。しかし、それを報道する側にその誘導作用が働いたかもしれない。ソース・テキストをその誘導の力に引かれて解釈したかもしれないのである。

以前にあったことが背景的知識となり、その総体的な枠ぐみが現在におけるテキスト理解を助けたり、妨げたりすることがある。こじつけがましいが、その枠ぐみ<sup>31)</sup>が、問題の一文の主語に American workers を選ばせることにつながったのかもしれない。

宮沢発言は何故アメリカであれほど波紋を広げ、何故彼らの神経を逆撫でしたのであろうか。武藤氏のコメントも含めて首相の考え方の趣旨に同感のアメリカ人は少なくないし、アメリカのメディア自体がそのような報道をすることも少なくない。同様のことは桜内発言、また遡って中曽根首相の「知的水準」発言の場合についても言える。しかし、これは本稿で扱うものとはまた別の問題である。

宮沢発言を取り巻く一連の事柄から得られる重要な教訓は、マイニチに投稿した読者の次の言葉に最も的確に表現されていると言えよう。

Everyone seems to have missed the point which is that the head of state does not criticize another country in a public forum.<sup>32)</sup>

## 引用文献・脚注

- 1) 朝日新聞 2月5日
- 2) 同、2月4日 (14版)
- 3) 同、2月5日
- 4) 同上
- 5) 朝日新聞、2月4日 (14版)
- 6) 同、2月5日
- 7) 同上
- 8) 同上
- 9) 同上
- 10) *Asahi Evening News*、2月5日
- 11) *Mainichi Daily News*、2月6日
- 12) *Asahi Evening News*、2月5日；朝日新聞、2月8日；*Mainichi Daily News*、2月17日、23日
- 13) 朝日新聞、2月5日；*AERA*、2月25日
- 14) CNN、“Headline News”、2月4日
- 15) *Asahi Evening News*、2月5日
- 16) *Mainichi Daily News*、2月6日
- 17) *The New York Times*、2月4日
- 18) *Mainichi Daily News*、2月5日
- 19) 朝日新聞、「窓」、2月23日
- 20) 我孫子和夫、朝日新聞、「声」、2月29日
- 21) 金子敦郎、朝日新聞、「論壇」、3月6日
- 22) *AERA*、2月25日
- 23) *Japan Views*, May/June 1992、(アジア財団)
- 24) H. A. Gleason, Jr. : *Linguistics and English Grammar*, Holt, Rinehart & Winston, N. Y., 1965, pp.171~172.
- 25) Takashi Ueda, “Readers’ Forum”, *Mainichi Daily News*、2月14日
- 26) *The New York Times*、2月8日 (21面)
- 27) *Mainichi Daily News*、2月6日
- 28) *Japan Views*, May/June 1992
- 29) Teun A. van Dijk : *News as Discourse*, Lawrence Erlbaum Associates, New Jersey, 1988, pp. 110~119.
- 30) この話は、いわゆる「業界小説」の名手といわれるアーサー・ヘイリーの作品「車」( Arthur Hailey : *Wheels*, 1971 ) に出ている。このような話は20年前からあることになる。
- 31) Gillian Brown & George Yule : *Discourse Analysis*, Cambridge U.P., Cambridge, 1983, p. 238.
- 32) Judith Clancy, “Readers’ Forum”, *Mainichi Daily News*、2月15日

## News Coverage and Text Processing

— A Note on Prime Minister Miyazawa's Remarks on "A Work Ethic" —

Nobuo HAYASHI

(Received November 2, 1992)

### ABSTRACT

Prime Minister Miyazawa's remarks on "a work ethic" made before a Diet committee early in 1992 created a furor in the United States.

The coverage of his remarks in English language media triggered debates among some media professionals concerning translation problems involved. The present article reviews the renditions of Miyazawa's words and examines problems in international news coverage, from a perspective of "text processing".

### KEY WORDS

Miyazawa's remarks, News coverage, Translation, Editing, Text processing, Source text, News text